2022年度　児童発達支援自己評価　（clubやちよ）

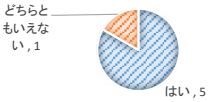
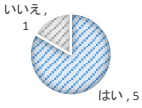
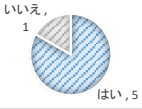
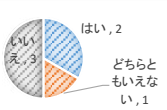
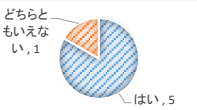
		チェック項目	はい	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	(1)	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	10		設備基準を満たしており、運動をするのに十分な広さを確保している。
	(2)	職員の配置数は適切であるか	10		基準を満たしており、その日の利用児童や児童の特性に応じて職員の人数を調整している。
	(3)	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。	10		カリキュラム表や椅子の運び方の写真等掲示し、わかりやすく視覚的支援を行っている。また、荷物を入れるかごを1人１個用意し、名札を付けて本人にわかりやすくしている。
	(4)	生活空間は、清潔で心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	10		感染症対策を徹底し、使用したものは毎日アルコール消毒を行い、拭き掃除は塩素系洗剤を使用して行っている。子ども達には、補助便座や踏み台を用意し、個々の必要に応じて使用できるようにしている。
業務改善	(5)	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	10		毎日、朝礼で段取り、役割、配慮が必要な点について情報を共有している。また、終礼時は振り返りを行い気になったことなど共有し、記録している。
	(6)	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか。	10		年に１回、保護者アンケート、事業所自己評価を実施し、集計して当社ホームページで公表している。また、送迎時やHUGの保護者コメント等で保護者の意向を伺うようにし、スタッフ同士で改善への取り組みを話し合っている。
	(7)	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の評価及び改善の内容を、事業所の開放やホームページで公開しているか。	10		年に１回保護者アンケートと事業所自己評価を実施し、当社ホームページに公開している。
	(8)	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		10	第三者による外部評価は行っていない。
	(9)	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	10		研修の年間計画を基に毎月、児童発達支援・放課後等デイサービスの事業所合同で研修を実施している。（感染予防の為オンラインで実施している）
適切な支援の提	(10)	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	10		定期的に保護者との面談、モニタリングを含めアセスメントを行っている。また個別にケア会議を開催し、課題を客観的に分析し、計画目標や支援内容を作成している。
	(11)	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	10	1	標準化されたアセスメントツールを使用している。発達検査の結果等をコピーして個人ファイルに保管し、特性を含む児童理解に努めている。
	(12)	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で具体的な支援内容が設定されているか	10		子どもの支援に必要な項目を設定した上で、項目ごとに目標や支援内容を設定した児童発達支援計画を作成している。
	(13)	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	10		児童発達支援計画に沿った支援を行っている。
	(14)	活動プログラムの立案をチームで行っているか	10		年間カリキュラムを立案し、児童に合わせて修正・改善などチームで行っている。また、指導員間で共有しやすいようにカリキュラムの動画撮影も行っている。
	(15)	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	10		3か月ごとに季節に合わせて変わるプログラムを行っている。声掛けやクイズ形式にする等、アレンジを加え固定化しないように工夫している。

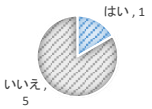
供	(16)	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成しているか	10		カリキュラムは集団活動が中心だが、個々の児童の特性を理解し、集団療育の中で個別の支援内容を設定した児童発達支援計画を作成している。	
	(17)	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	10		朝礼時にその日の送迎・役割・配布物・注意すべき点など職員間で共有してから支援を行っている。	
	(18)	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	10		支援終了後、終礼を行い、その日の振り返り・今後の課題や注意すべき点など共有し、終礼ノート等に記録している。	
	(19)	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	10		終礼後、サービス提供記録、ケア記録、業務日報等、入力を行い職員間で共有し、支援の検証・改善に繋げている。また、職員間で統一した支援を行うようにしている。	
	(20)	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	10		定期的にモニタリングを実施し、ケア会議にて課題の抽出、分析等を行い、計画書の見直しの必要性を判断している。	
関係機関や保護者との連携	(21)	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	8	2	セルフプランが多く、相談支援事業所との関わりが少ない。 相談支援事業所との関わりは少ないが適した者を参画できている。	
	(22)	母子保健や子ども子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	10		必要時、障害者支援課、ことばと発達の相談室、子ども相談センター、健康保健課など関係機関と連携を行っている。	
	(23)	（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合）地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	6	4	現在、医療的ケアが必要な児童の受け入れはないが、受け入れる際は連携した支援を行っていく。	
	(24)	（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合）子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	6	4	現在、該当する児童は在籍していないが、必要時は主治医など把握し、連絡体制を整え連携支援を行う。	
	(25)	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	10		送迎時に保育園・幼稚園の職員から児童の体調や様子などを伺っている。該当児童がいる際には、関係機関との連携を図り、情報共有・相互理解を行っていく。	
	(26)	移行支援として、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	9	1	該当児童がいる際には、関係機関との連携を図り、情報共有・相互理解を行っていく。	
	(27)	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	9	1	千葉県発達障害者支援センターCASの研修（zoom）への参加、ことばと発達の相談室や児童発達支援センターとの連携により助言を受けている。 保護者よりことばと発達の相談室で受けたアドバイス、検査結果を伺い、職員間で共有を図り児童理解に繋げている。	
	(28)	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある		10	コロナ渦のため、外部との交流は行われていない。利用児童のほとんどが保育園・幼稚園に通園しながら利用しているため、障害のない子どもと活動する機会を設けていない。	
	(29)	（自立支援）協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	2	8	八千代市では、自立支援協議会の参加が有識者のみとなっているため参加できていない。	
	(30)	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	10		送迎時やHUGの提供記録にて、その日の様子などを伝え、共通理解を図っている。また、HUGのサービス提供記録は活動時の写真など保護者が閲覧できるシステムとなっている。	
	(31)	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っているか	10		個別に面談等行い、保護者の相談への助言や共通理解に向けて支援を行っている。	
	(32)	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	10		契約時や必要時、保護者に書面で提示し、丁寧に説明を行っている。	

保護者への説明責任等	(33)	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	10		児童発達支援計画の内容を説明し、同意を得て署名捺印を頂いている。また、コピーを渡し共通理解に努めている。	
	(34)	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	10		定期的に面談を行い、必要な助言、支援ができるよう組織として適切に対応している。	
	(35)	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	1	9	コロナの感染拡大の影響により、保護者参加イベントの開催などできず、保護者同士の連携支援ができていない。	
	(36)	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	10		子どもや保護者からの相談や申入れについては、苦情も含め、迅速かつ適切に対応できる体制を整えている。	
	(37)	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	10		月に３～４回、インスタグラムに活動内容や子どもの様子を発信している。次月利用予定表と共に感染対策等のお知らせポスターや情報提供など保護者に対して発信している。 避難訓練など実施する場合は、保護者へ文書で知らせている。	
	(38)	個人情報の取り扱いに十分注意しているか	10		契約時、個人情報の取り扱いの説明を行い、取り扱いに十分注意している。SNSに写真を掲載する時には、保護者に確認するとともに掲載時はスタンプを使用する等気を付けている。また、複数の職員で確認もしている。	
	(39)	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	10		わかりやすい文書配布するなど視覚的支援や説明、必要時は個別に連絡する等配慮している。また、子どもの特性によって伝え方を工夫し、わかりやすく伝えるよう配慮している。	
	(40)	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		10	コロナの感染拡大の影響により、講演会や地域イベントなど住民啓発に取り組めていない。	
非常時等の対応	(41)	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	10		マニュアルに従い、年に2回火災と地震を想定した訓練を行っている。保護者にも書面にて訓練の流れをお知らせしている。また、ルーム内には防災計画、避難経路を掲示している。緊急時対応や感染予防マニュアルを策定し、シミュレーション研修など行なっている。また、コロナ発生の机上訓練、防護服着用の訓練を実施している。	
	(42)	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	10		年に2回、火災と地震を想定した避難訓練を行っている。	
	(43)	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	10		必要時、服薬やてんかん発作時の対応方法など、注意配慮すべき点を職員間で周知、共有している。また、状態に応じては保護者と密に連携を図り、主治医の情報提供の共有に努めている。	
	(44)	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	5	5	利用開始の際、アレルギー等確認している。サービス提供時間内で食事の提供は行っていない。	
	(45)	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	10		ヒヤリハット事例集を作成し、事業所内で共有を図っている。	
	(46)	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	10		年間研修の項目に取り入れ、職員で共有している。また、責任者が県の虐待防止研修に参加し、伝達研修により職員間で共有し、適切に対応している。	
	(47)	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	8	2	現在、身体拘束を行わなければならない児童は在籍していない。他の児童にけがを負わせるなどやむを得ず身体拘束を行う場合は、組織的に決定し児童や保護者に十分説明し、了承を得て計画書に記載し実施し記録している。常に見直しを検討する等必要な対応を行う。	

2022年度　放課後等デイサービス自己評価　（　clubやちよ　）

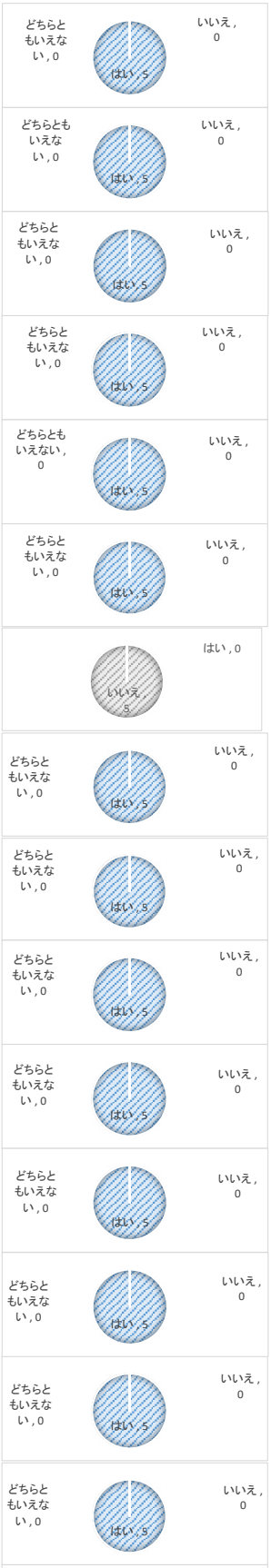
		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など	
環境・体制整備	(1)	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	6			多機能型として、設備基準を満たしており適切である。	
	(2)	職員の配置数は適切であるか	6			人員基準を満たしており適切である。	
	(3)	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	6			玄関とトイレ前に多少の段差があるが、声掛けをし注意を促している為、利用児童に対して特に問題なく適切である。	
業務改善	(4)	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	6			朝礼時に業務開始に向け、段取りや配慮すべき点など共有し、終礼時に振り返りを行い、改善への取り組みを話し合っている。	
	(5)	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	6			年に1回アンケートを実施し、スタッフ間で保護者の意向等共有し、業務の改善に繋げている。	
	(6)	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	6			保護者アンケートと職員による事業者自己評価を実施し、当社ホームページにて公表している。	
	(7)	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			6	第三者による外部評価は行っていない。	
	(8)	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	6			研修の年間計画を基に毎月、児童発達支援・放課後等デイサービスの事業所合同で研修を実施している。（感染予防の為オンラインで実施している）	
適切な支援の提供	(9)	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	6			定期的にモニタリングを含めアセスメントを行い、個別にケア会議を開催し、課題の抽出分析をし、計画目標や支援内容を作成している。	
	(10)	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	6			標準化されたアセスメントツールを使用している。	
	(11)	活動プログラムの立案をチームで行っているか	6			療育のカリキュラム、創作活動、イベント企画など役割等を決め、立案や改善などチームで行っている。	
	(12)	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	6			活動プログラムが固定化しないように児童に合わせて、アレンジや変化を取り入れるなど工夫している。	
	(13)	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	6			平日と休日、長期休暇では提供時間が異なるため、イベント開催や創作活動など企画設定をしている。	
	(14)	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	6			個別活動と集団活動を組み合わせ、個々の特性に応じて計画目標や支援内容を設定し、作成している。	
	(15)	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	6			朝礼時、送迎を含む支援内容や役割分担、注意や配慮すべき事項を職員間で共有し、確認している。	

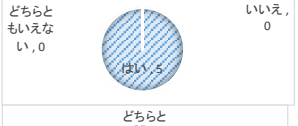
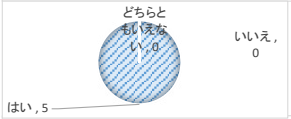
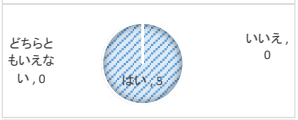
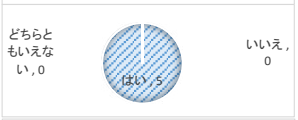
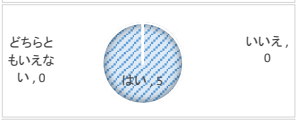
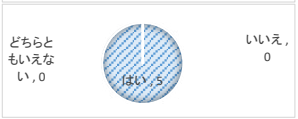
	(16)	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	6			終礼時にその日の振り返りを行い、気づいた点など職員間で共有し記録している。また、今後の課題や注意すべき点、対応方法など改善に向けて取り組んでいる。	
	(17)	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	6			終礼時、サービス提供記録、ケア記録、業務日報等入力し、事実を客観的に記録するようにしている。	
	(18)	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	6			定期的にモニタリングを実施し、ケア会議にて課題を抽出、分析を行い、計画書の見直しの必要性を判断している。	
	(19)	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っているか	6			主に体育・感育、徳育、知育の3つのカリキュラムを組み合わせ、総則に沿った活動と支援を行っている。	
関係機関や保護者との連携	(20)	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	1	4	1	セルフプランが多く、参加を求められたことがない。セルフプランが多く、相談支援事業所の関わりが少ない状況だが、適した者が参画できている。	
関係機関や保護者との連携	(21)	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	5	1		学校送迎時やトラブル発生時等の連絡を行っている。行事予定や下校時刻の確認等は保護者を介して確認している。直接、担任の先生よりお知らせ頂けることもある。	
関係機関や保護者との連携	(22)	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	6			現在、医療的ケア児の利用はないが、受け入れる際は主治医の確認、服薬の有無の確認等、連携できる体制を整える。	
関係機関や保護者との連携	(23)	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	6			ことばと発達の相談室のケアワーカーや保育園、幼稚園での様子を情報共有し連携に努めている。	
関係機関や保護者との連携	(24)	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	5	1		現在、卒業に該当する児童はいない。必要時は、支援内容等の情報共有を行う。	
関係機関や保護者との連携	(25)	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	5		1	コロナの影響により、発達支援センターCASのzoom研修の参加やことばと発達の相談室や児童発達支援センターとの連携により助言を受けている。	
関係機関や保護者との連携	(26)	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		1	5	コロナの影響により、外部との交流は行っていない。	
関係機関や保護者との連携	(27)	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	2	1	3	八千代市では、自立支援協議会の参加は有識者のみのため参加できていない。	
関係機関や保護者との連携	(28)	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	6			サービス提供記録の閲覧や送迎時にその日の様子を保護者に伝え、共通理解している。必要時、電話や面談にて個別に相談対応を行っている。	
関係機関や保護者との連携	(29)	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	5	1		個別面談等を通して、子どもの状況を共有し、保護者の理解や相談の支援を行っている。	
保	(30)	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	6			契約時及び必要時に保護者に丁寧に説明を行っている。	
保	(31)	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	6			定期的に面談を行い、家庭での様子を共有し、子育ての相談も含めて適切に必要な助言や支援を行っている。	
保	(32)	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	1	1	4	以前は茶話会や保護者参加型イベント開催等行っていたが、コロナの影響により、実施できず保護者同士の連携ができていない。	

護者への説明責任等	(33)	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	6			苦情や相談の申し入れについては、職員同士連携を図り、迅速かつ適切に対応を行っている。	
	(34)	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	6			次月利用予定表と共に感染対策、創作イベント活動のお知らせなど配布している。また、インスタグラムを利用して活動の内容や様子を発信している。	
	(35)	個人情報に十分注意しているか	6			契約時、個人情報の取り扱いの説明を行っている。また、SNSの写真利用に関しては保護者へ確認、不要になった送迎表はすぐにシュレッダー処分をするなど、取り扱いには十分注意している。	
	(36)	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	6			わかりやすい文書配布や各児童の特性を配慮し、意見の疎通や必要時には個別に対応するなど配慮している。	
	(37)	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	1		5	コロナの影響により、講演会や地域イベントなど実施できていない。	
非常時の対応	(38)	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	6			緊急時対応マニュアルや感染症対応マニュアル等策定し、定期的に研修を行っている。また、ルーム内には防災計画を掲示し、避難訓練を行う時には保護者に文書でお知らせしている。	
	(39)	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	6			年間計画に沿って、年に2回避難訓練を行っている。	
	(40)	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	6			年間計画や県の伝達研修を実施し、職員の意識づけや適切な対応に努めている。	
	(41)	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	6			他の児童に怪我を負わせる等やむを得ず身体拘束を行うか組織的に決定し、児童や保護者に事前に十分に説明し、了承を得た上で計画書に記載している。	
	(42)	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	6			保護者に確認し、必要時主治医の指示書に基づき対応している。	
	(43)	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	6			ヒヤリハット事例集を作成し、当社部内事業所合同で共有を図っている。	

2022年度　放課後等デイサービス自己評価　（clubやちよ中央）

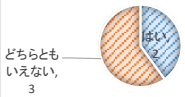
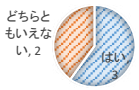
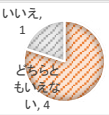
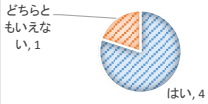
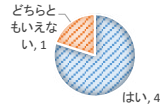
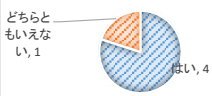
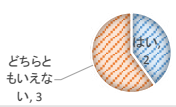
		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	(1)	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	5	0	0	定員10名の規定にそって、訓練スペース等活動するのに適切である。
	(2)	職員の配置数は適切であるか	5	0	0	人員基準に沿って適切である。
	(3)	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	5	0	0	トイレ前の段差にステップを設置や声掛けなど、工夫をしている。
業務改善	(4)	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	5	0	0	担当スタッフ全員で終礼時に職員間の対応などを振り返り、配慮すべきところや改善点を共有している。また記録に残して朝の打ち合わせの際にも、全職員で情報共有を図っている。
	(5)	保護者等向け評価表を活用する等により アンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	5	0	0	毎年12月に保護者アンケートを配布し、回収後に意見を把握して、保護者の意向を反映して業務改善に取り組んでいる。
	(6)	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	5	0	0	自己評価結果と保護者アンケートをホームページにて公開している。
	(7)	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	0	0	5	現在行っていないが、今後検討していく。
	(8)	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	5	0	0	研修計画に沿って月1回営業所合同で行い、全員で参加している。避難訓練・感染症訓練・救命救急講習などもマニュアルに沿って実施している。
適切な支援の提供	(9)	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	5	0	0	保護者との面談の内容や指導員からの情報を共有しながらアセスメントを実施し、子供と保護者のニーズや課題にあった放課後等デイサービス計画を作成している。
	(10)	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	5	0	0	共通のアセスメントシートがあり、それを使用している。
	(11)	活動プログラムの立案をチームで行っているか	5	0	0	カリキュラム担当者に分かれ、プログラムを作成、提案している。徳育の創作活動やイベント企画なども行い、チームで活動プログラムを考えている。
	(12)	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	5	0	0	定期的にミーティングを行い、固定化しないように学年に合わせた改善や個人の能力に合わせたアレンジなど工夫している。
	(13)	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	5	0	0	療育カリキュラムがあり、児童に合わせた対応をしている。学校休業日などは休日用の時間割を決め、提供時間が長い分、イベントなども取り入れてきめ細やかに支援している。
	(14)	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	5	0	0	カリキュラムの中で基本的には集団活動を元に計画書を作成しているが、児童の特性に合わせて配慮したうえで個別の活動も組み合わせて計画を作成している。
	(15)	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	5	0	0	朝礼時に、児童の特性や必要事項を確認し、職員の役割分担をきめている。

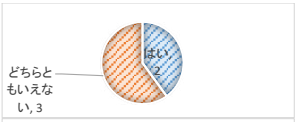
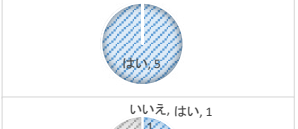
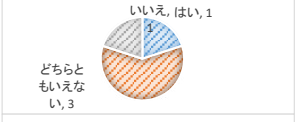
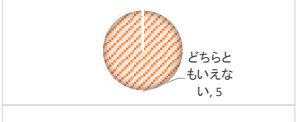
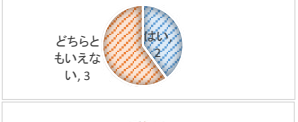
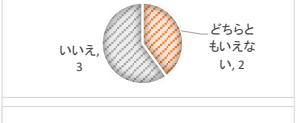
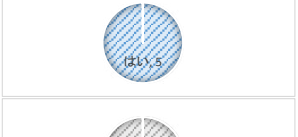
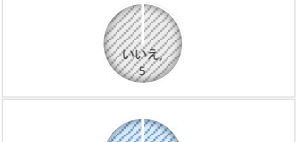
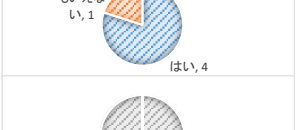


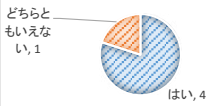
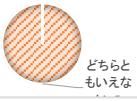
	(16)	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	5	0	0	終礼時に、振り返りを行い児童の様子やカリキュラムでの行動を共有し、記録したうえ改善点に取り組んでいる。	
	(17)	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	5	0	0	事実に元づく客観的な記録を提供記録に入力し、モニタリングなどで振り返りと評価を行い改善につなげている。研修などで正しい入力の仕方についても確認している。	
	(18)	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	5	0	0	6ヶ月に１度以上の頻度でモニタリングを行い、見直しを行ったうえで個別支援計画の作成を行っている。	
	(19)	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っているか	5	0	0	年間カリキュラムの中に体育・感育・徳育・知育を組み合わせた療育特化型の基本活動を組み込んで支援を行っている。	
関係機関や保護者との連携	(20)	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	5	0	0	セルフプランが中心で相談支援事業所とのかかわりは少ないが、必要な場合には会議へ児童発達支援管理責任者などが参加している。	
	(21)	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	5	0	0	学校送迎時、担任の先生と情報共有をはかって、トラブル発生時には連携して適切に対応している。下校時刻などの確認は保護者を介して行い、調整している。	
	(22)	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	5	0	0	事前に保護者から必要な情報を聞き取り、保護者とフローチャートを作成し何かあった場合連絡を行っている。	
	(23)	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	5	0	0	現在は就学前に利用していた施設との連絡を直接行っていないが、保護者を通して就学前の他事業所での様子を聞き取っている。	
	(24)	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	0	5	0	現在該当児童はいないが、移行する場合には情報提供を進めている。	
	(25)	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	5	0	0	感染対策の為、現在は市の研修等に直接参加できていないが、専門機関との連携を図っている。	
	(26)	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	0	0	5	現在、感染症対策のため外部との交流を控えているが、感染症が終息しだいイベントや交流をはかっていく。	
	(27)	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	5	0	0	八千代市内の放課後等デイサービス事務所との定期的な連絡会に管理者がオンライン会議に参加し、情報共有をはかっていく。	
	(28)	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	5	0	0	面談や送迎の際に、保護者に最近の様子などを伺ったりその日の様子を伝えたりと情報共有をしている。必要に応じて、電話連絡や確認を行っている。	
	(29)	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	5	0	0	保護者から相談を受けた場合、スタッフ内で話し合い、アドバイスや連携をとっている。	
	(30)	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	5	0	0	契約時に責任者や児童発達支援管理責任者が保護者に書面を見せながら丁寧に説明をしている。また質問などにはその都度、適切に答えている。	
	(31)	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	5	0	0	面談時や送迎時に児童の様子や最近の状況など聞きとり情報共有している。指導員や児童発達支援管理責任者より困りごとに対して助言や支援などを行っている。	
	(32)	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	0	0	5	新型コロナウイルス感染のため現在は行っていないが、感染症の流行が終息し次第保護者会を開くことを検討していく。	

保護者への説明責任等	(33)	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	5	0	0	事業所に苦情、相談窓口をもうけ、相談を頂いた場合はすぐに責任者が対応している。	
	(34)	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	5	0	0	インスタグラムやブログなどのSNSを使い、活動の様子を定期的に発信している。会報などの発行はないが、コロナ対策、訓練などの情報についてお便りを配布している。創作活動やイベントがある際に予定や内容をお知らせしている。	
	(35)	個人情報に十分注意しているか	5	0	0	契約時に保護者に個人情報の取り扱いについて説明し確認している。職員は個人情報に関するデータやファイルの管理を適切に行っている。個人情報の取り扱いについて、研修にも取り入れ、SNSの写真なども配慮して取り扱っている。	
	(36)	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	5	0	0	児童と保護者に確認しながら、わかりやすく伝えられるように、お知らせの文書を発行したり、それに関する口頭での説明を行い、情報伝達に問題がないよう対応している。	
	(37)	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	0	0	5	感染症対策のため現在は行っていないが、感染症の流行が終息し次第、イベントや行事にて交流をはかる。	
非常時等の対応	(38)	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	5	0	0	緊急時対応や感染症対策マニュアルなど業務継続計画を策定し、スタッフ全員がシュミレーション研修を受け、周知して緊急時に対応できるようにしている。緊急時の防災計画など掲示したり、保護者へは書面で周知している。	
	(39)	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	5	0	0	年間計画に沿って、2回（地震、火事）の避難訓練を行っている。非常災害に備えて、備蓄品の管理を行っている。コロナ発生時の対応についてもシュミレーション訓練を行っている。	
	(40)	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	5	0	0	虐待防止委員会を設置して、年間計画で研修を行っている。また代表者が虐待防止・権利擁護研修に参加し、内部研修を併用し適切な対応が常にとれるようにしている。	
	(41)	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	5	0	0	やむを得ず身体拘束を行う場合の要件を責任者、スタッフともに研修などで共有し適切な対応がとれるようにしている。現在、該当児童はいないが、組織的に必要と考えられるときには、保護者と児童に十分説明し同意を得たうえで計画書にも記載し対応していく。	
	(42)	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	5	0	0	利用開始前に事前に保護者からアレルギーの確認と聞き取りを行い、必要に応じて対応している。	
	(43)	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	5	0	0	各営業所でのヒヤリハットを閲覧できるようにしてあり、スタッフで共有している。	

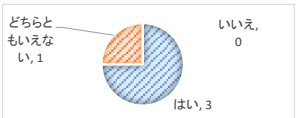
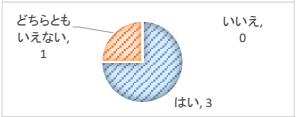
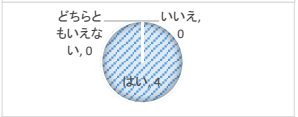
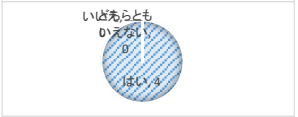
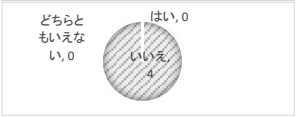
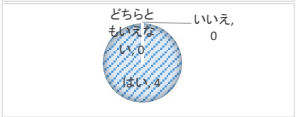
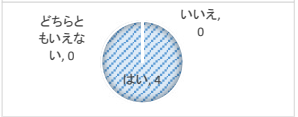
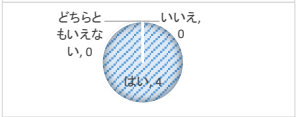
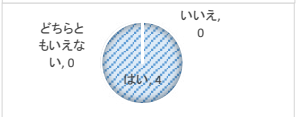
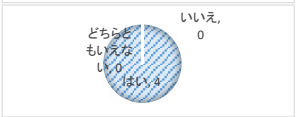
2022年度　放課後等デイサービス事業者自己評価（　clubユーカリが丘　）

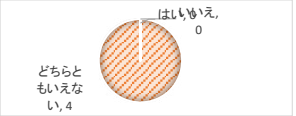
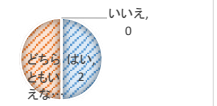
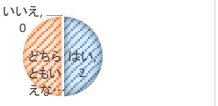
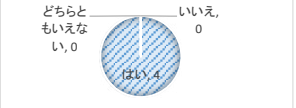
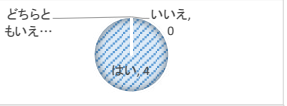
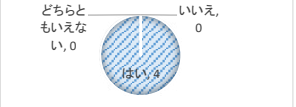
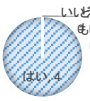
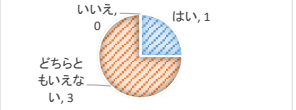
		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など	
環境・体制整備	(1)	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	5				
	(2)	職員の配置数は適切であるか	2	3			
	(3)	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	4	1		車いす利用や視覚障害のある児童の利用はないが、段差・ロッカーの高さなどある中、特に問題なく利用はできている。	
業務改善	(4)	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	3	2			
	(5)	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	5			年に１回実施している。	
	(6)	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	5			ホームページで公開している。	
	(7)	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		4	1	現在第三者による外部評価は実施していない。	
	(8)	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	5			月に1度行っている。	
適切な支援の提供	(9)	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	5			面談や保護者・本人の意向を確認している。	
	(10)	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	4	1			
	(11)	活動プログラムの立案をチームで行っているか	5			毎日行う各カリキュラムにおいては、営業所をこえて担当同士で連携を図っていル。また営業所内においても創作活動やイベント時には担当者を中心にチームで役割を分担して立案している。	
	(12)	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	5			隔週で変更している。	
	(13)	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	4	1		平日・学休日はスケジュールに違いがある。	
	(14)	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	4	1		必要に応じて対応は行っているが、基本は集団カリキュラムに沿った活動、計画になっている。	
	(15)	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	2	3		補助が必要な物や個別対応が必要な児童について、声を掛け合い、事前に調整し行っている。	

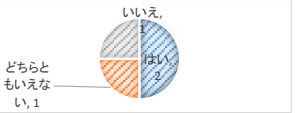
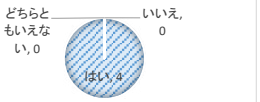
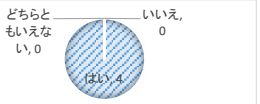
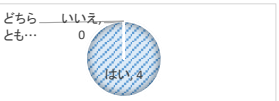
	(16)	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	2	3		次の日に行なうこともあり、共有が抜けてしまうこともあるため、改善を図っている。終礼時に共有し、その日にいない職員へは翌日共有している。	
	(17)	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	5			支援に関して毎日記録をとっている。個別の対応記録についても当日、または翌日のうちに記録を行い、共有している。	
	(18)	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	5			6カ月に1度行っている。	
	(19)	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っているか	5			ガイドラインに沿って支援をしている。	
関係機関や保護者との連携	(20)	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	5			代表者が参加している。	
関係機関や保護者との連携	(21)	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	5			学校迎えの際、申し送り等いただいている。送迎時刻などは保護者を通じて確認、連携を図っている。	
関係機関や保護者との連携	(22)	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	1	3	1	該当児童はいないが、必要に応じて連携体制を図る準備は整えている。	
関係機関や保護者との連携	(23)	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか		5		該当児童はいないが、必要に応じて連携体制を図る準備は整えている。	
関係機関や保護者との連携	(24)	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか		5		現在、該当児童はいないが、連携を行なえるよう体制を整えている。	
関係機関や保護者との連携	(25)	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	2	3		研修の機会がある場合には参加している。	
関係機関や保護者との連携	(26)	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		2	3	感染予防のため、外部との交流は行っていない。	
関係機関や保護者との連携	(27)	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	5			代表者が参加している。	
関係機関や保護者との連携	(28)	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	5			送迎時や連絡帳で共有を図っている。	
関係機関や保護者との連携	(29)	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか			5	コロナの影響もあり積極的に行うことができていない。	
保	(30)	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	5			見学・契約時に説明をしている。	
	(31)	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	4	1		個別に応じて相談を実施している。	
	(32)	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			5	感染予防の観点から実施していない。	

護者への説明責任等	(33)	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	5			即時共有している。 共有、検証の後、結果や対応について、保護者と共有している。	
	(34)	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	4	1		SNSやお知らせ文書を発信、配布している。	
	(35)	個人情報に十分注意しているか	5			鍵付きキャビネットで保管管理をしている。	
	(36)	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	5			視覚的支援や必要に応じて、かな文字媒体での手紙を活用している。	
	(37)	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			5	感染症対策の為実施していない。	
非常時の対応	(38)	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	5			感染症対策マニュアル、予防訓練を実施しています。 避難訓練実施に伴い保護者には説明と緊急時の対応について文書を配布している。	
	(39)	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	5			年に２回訓練を行っている。	
	(40)	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	5			虐待に関する研修は行っている。 伝達研修も行っている。	
	(41)	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	5				
	(42)	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか		5		日頃食材を扱うことや提供する機会はないが、イベントなどで食品を扱う際に都度確認を行なっている。	
	(43)	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	5			ヒヤリハットがあった際、全事業所で共有している。	

2022年度　放課後等デイサービス事業者自己評価（club　ゆりの樹　）

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など	
環境・体制整備	(1)	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	3	1	0	規定は満たしているが、高学年が多く身体も大きい児童が多いので、10人集まると体育（特にサーキット）の時など、とても狭く感じる。 決められた定員に合わせたスペースになっている。	
	(2)	職員の配置数は適切であるか	3	1	0	規定は満たしているが、送迎が余裕を持ってまわすことが出来ていない。 人員基準をみたしている。	
	(3)	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	0	2	2	トイレ前の段差があり声掛けや注意を行っている。 現在該当児童はいないが準備はしてある。 出入口等に低いが段差がある。	
業務改善	(4)	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	4	0	0	朝礼や終礼、担当者会議の際に、全スタッフで児童について共有している。	
	(5)	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	4	0	0	スタッフで話し合って改善できる範囲で改善している。 保護者アンケートを毎年行い、保護者の意向などを共有し、業務改善に役立てている。	
	(6)	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	4	0	0	保護者アンケートの結果とともに公開している。	
	(7)	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	0	0	4	現在行われていないが、今後の検討事項にはあがっている。	
	(8)	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	4	0	0	毎月決められた項目の研修を行い、外部のオンライン研修も活用している。	
適切な支援の提供	(9)	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	4	0	0	保護者との面談やスタッフ間で情報共有を行い、状況や課題について会議で話し合い作成している。	
	(10)	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	4	0	0	共通のアセスメントシートで行っている。	
	(11)	活動プログラムの立案をチームで行っているか	4	0	0	プログラムの分野ごとにチームを作り作成している。	
	(12)	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	4	0	0	定期的なミーティングを行い、アレンジ案などの共有を行っている。	
	(13)	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	4	0	0	休日や短縮日課に合わせて、イベントや追加プログラムを企画し内容に工夫をしている。	
	(14)	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	4	0	0	児童の特性を考慮した支援計画を作成し、活動プログラム内で集団活動と個別活動を組み合わせている。	
	(15)	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	4	0	0	朝礼時に確認している。	

	(16)	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	4	0	0	終礼時に共有と話し合いを行い、記録もとっている。	
	(17)	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	4	0	0	活動の記録や支援について連絡帳などを使い、記録に残している。	
	(18)	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	4	0	0	6ヶ月に一度以上の頻度でモニタリングを行っている。	
	(19)	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っているか	4	0	0	運動、SST、脳機能改善等の3つのカリキュラムを組み合わせて行っている。	
関係機関や保護者との連携	(20)	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	4	0	0	管理者、児童発達支援管理責任者が参加している。	
関係機関や保護者との連携	(21)	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	4	0	0	送迎時に情報共有を行っている。学校だよりや学年だよりなどをいただいて、行事や下校時刻の確認を行っている。	
関係機関や保護者との連携	(22)	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	0	4	0	事前に保護者から必要な情報について聞き取りを行っている。現在、直接的なケアが必要な児童はいないが緊急連絡が必要な児童については取り決めを行って対応している。	
関係機関や保護者との連携	(23)	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	2	2	0	現在は感染症対策の為直接の情報共有を行えていないが、保護者から就学前の様子について情報共有をしている。	
関係機関や保護者との連携	(24)	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	2	2	0	現在該当児童はいないが、今年度末に卒業する児童について行う予定である。	
関係機関や保護者との連携	(25)	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	4	0	0	行政機関との連携を行い、県の研修などにも参加している。	
関係機関や保護者との連携	(26)	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	0	0	4	現在は感染症対策の為ひかえている。	
関係機関や保護者との連携	(27)	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	4	0	0	八千代市市内の放課後等デイサービスの定期的な会合に参加している。	
関係機関や保護者との連携	(28)	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	4	0	0	送迎時や保護者との面談にて情報共有をしている。	
関係機関や保護者との連携	(29)	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	4	0	0	保護者からの相談などに対し、対応策やアドバイスを行っている。	
保	(30)	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	4	0	0	契約時に書面を提示し、必要事項等について説明を行っている。	
	(31)	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	4	0	0	面談や送迎時に、指導員や児童発達支援管理責任者より、相談や助言を行っている。また、その内容を組み込んだ支援内容や計画を立てている。	
	(32)	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	1	3	0	以前は茶話会や保護者参加のイベントを開いていたが、感染症対策の為現在は行っていない。	

護者への説明責任等	(33)	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	4	0	0	相談を受けた際にはすぐに責任者が相談や助言を行っている。また、その内容を共有し改善を行っている。	
	(34)	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	2	1	1	会報ではないがInstagram等のSNSを利用し、行事予定や活動概要は発信している。	
	(35)	個人情報に十分注意しているか	4	0	0	個人情報は鍵のかかるキャビネットに保管し、必要がなくなったものはシュレッダーで裁断している。 個人情報の取り扱いについて毎年研修を実施している。	
	(36)	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	4	0	0	児童に合わせて視覚的支援等を行っている。 お知らせの文書を発行し、口頭での説明なども行い、情報伝達に問題が無いように努めている。	
	(37)	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	0	1	3	感染症対策の為現在は行っていないが、感染症の流行が終息次第イベントなどを開く予定である。	
非常時の対応	(38)	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	4	0	0	それぞれ策定し、保護者に周知している。 各々について研修等を行っている。	
	(39)	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	4	0	0	地震、火災を想定した訓練を行っている。 年2回避難訓練を行っている	
	(40)	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	4	0	0	虐待防止委員会を設置し、管理者が県の研修に参加している。その伝達研修も毎年全員を対象に行っている。	
	(41)	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	4	0	0	記載している。	
	(42)	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	1	0	3	こちらから食事の提供は行っていない。 事前に保護者からの聞き取りや共有事項の確認をしている。医師からの指示所がある場合はそれに沿って対応している。	
	(43)	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	4	0	0	各事業所で作成している。社内全体で研修等活用し共有している。	